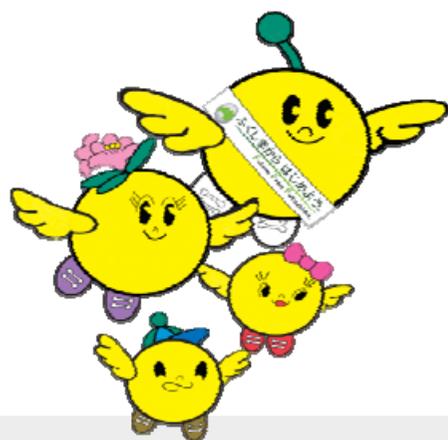


福島イノベーション・コースト構想の 取組等について

(福島復興再生特別措置法「重点推進計画」)

平成30年4月25日

福 島 県



福島県復興シンボルキャラクター
「ふくしまからはじめよう。キビタンファミリー」



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

福島復興再生特別措置法に基づき、福島における新産業創出等を重点的に推進するため、福島復興再生基本方針に即して、福島県知事が作成。

第1部 計画の基本的事項

- 目標**
- ① 浜通り地域等における自律的な経済復興の実現
 - ② 福島県全域での先端産業の集積による全県的な経済復興の実現
 - ③ 世界に誇れる福島の復興・創生の実現

本計画の区域 福島県全域
本計画の期間 ～ 2020年度末まで

第2部 福島イノベーション・コースト構想

福島国際研究産業都市区域 浜通り地域等15市町村（いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）

本構想実現のための基本的な方向性と主な取組の内容

方向性(1) 拠点の整備及び研究開発の推進

- 福島ロボットテストフィールドの整備
- 情報発信拠点（アーカイブ拠点）の整備
- 廃炉、ロボット、エネルギー、農林水産、環境・リサイクル分野における技術開発・実用化の推進



方向性(2) 産業集積の促進及び教育・人材育成

- 企業立地補助金の活用等による企業立地促進
- ビジネスマッチングの促進
- 民間企業等の参入促進等による農林水産業の成長産業化
- 初等中等教育でのイノベーション人材の育成
- 大学等の教育研究活動の推進
- 地域の研究機関等と連携した産業人材の育成確保



方向性(3) 生活環境整備の促進

- ふくしま復興再生道路等のインフラ整備促進
- 広域バス路線確保等の生活環境の整備
- 復興拠点等と連携したコミュニティの形成



方向性(4) 来訪者の増大による交流人口の拡大

- 福島ロボットテストフィールド、アーカイブ拠点を起点とする交流の促進
- 地域資源を活用した新たな魅力の創造



方向性(5) 多様な主体の連携の強化

- (一財)福島イノベーション・コースト構想推進機構を中核とした関係者間の交流の促進
- 推進機構と福島相双復興官民合同チームとの連携の強化



一般財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

- ・本計画に関連する取組を一貫して推進するため、一般財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構を計画実施主体として位置づけ
- ・本計画に基づく(1)から(5)の施策を総合的かつ計画的に推進するため、産業集積の促進、大学教育研究活動の支援、交流人口拡大、総合的な情報発信等を、県と一体となって進めていく

法第81条第3項に基づく特例事業

- (1) 法第84条の適用事業（中小企業者の特許料等を軽減）
- (2) 法第85条の適用事業（ロボット新技術開発者が国有施設を低廉利用）

第3部 福島県全域における新たな産業の創出等の取組

新たな産業の創出及び産業の国際競争力強化に寄与する取組

- (1) 再生可能エネルギー（福島新エネ社会構想）
- (2) 医薬品及び医療機器
- (3) ロボット
- (4) 航空宇宙関連産業
- (5) ICT（情報通信）
- (6) その他

取組の迅速かつ確実な実施のための措置等

- (1) 技術革新の推進
- (2) 企業立地の促進
- (3) 知的財産を活用した技術・製品開発の推進
- (4) 高度産業人材育成のための施策
- (5) 起業の促進

拠点施設の整備(ロボット分野)

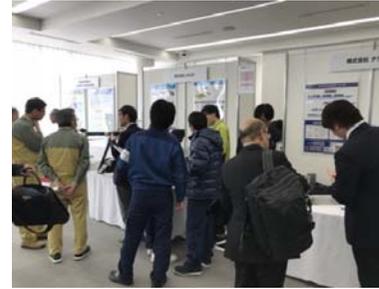


<福島ロボットテストフィールド>

世界に類を見ない陸・海・空のロボットの一大研究開発拠点として、福島ロボットテストフィールドを整備

- 平成30年度から一部運用を開始し、平成31年度末に全施設開所予定
- 東西約1,000m、南北約500mの敷地内に4つのエリア、14の施設から構成
 - ◆ 国内最大の飛行空域(約13km)で多様な試験が可能な「無人航空機エリア」
 - ◆ 橋梁等の点検や災害対応の実証試験が可能な「インフラ点検・災害対応エリア」等

産業集積



<ふくしまみらいビジネス交流会の様子>

廃炉、ロボット、エネルギー等の分野の関連企業を誘致し、拠点と連携した新たな産業を集積

- 地元企業のビジネス機会創出のためのマッチングイベントの開催
 - ◆ 地元企業と域外からの進出企業との交流会を南相馬市、楡葉町等で開催し、のべ220社が参加
- 新たな企業の進出(例)
 - ◆ フォーアールエナジー(株)(浪江町) 車載用リチウムイオンバッテリーの二次利用
 - ◆ 福島エコクリート(株)(南相馬市) 石炭灰を用いた土木資材の製造

教育・人材育成



<小高産業技術高校生による制御技術実習>

初等中等教育から高等教育に至るまで幅広い構想を支える人材を育成

- イノベーション人材の育成
 - ◆ 浜通り地域等の高校において、構想実現に寄与する人材育成を目指し、教育プログラムを開発
 - (例)小高産業技術高校
 - ◆ 構想を担う人材の育成を目指し平成29年度開校
 - ◆ 高度な専門人材育成に向けたカリキュラムを展開
 - (※国からスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールに指定)
- 大学の教育研究活動の活性化
 - ◆ 県外のような大学が浜通り地域等の市町村と連携し、教育研究活動等を実施
 - (例)慶應義塾大学×田村市
 - ◆ 平成28年12月に連携協定を締結し、船引高校においてドローン講座を開講

交流人口の拡大



<楡葉遠隔技術開発センター視察の様子>

来訪者を促進させるため、拠点を核とした交流人口の拡大に向けた取組を推進

- 視察・研修等の受入れ
 - ◆ 国内外の企業、大学、高校や経済団体など様々な方々の視察や研修等を受入れ
 - ◆ 福島イノベーション・コースト構想の拠点施設や浜通り地域等の現場を案内しながら丁寧に紹介

これらの取組を一貫して推進するエンジンとして、福島イノベーション・コースト構想推進機構を設立

➡ 本年4月より体制を強化し、業務を本格的に始動

構想を地元の事業・生業の再生につなげるため、重点推進計画に掲げた取組を着実に進め、浜通り地域等の再生、福島県全体の復興・創生を推進